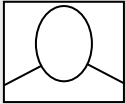


審判員紹介

新2級審判員の紹介 (2014年度昇級者)



(文面)

氏名

出身協会

【掲載順】

- 金淵 (p.1)
- 岸田 (p.1)
- 小谷 (p.2)
- 谷添 (p.2)
- 堤 (p.3)
- 寺岡 (p.3)
- 原 (p.4)
- 前田 (p.4)
- 山崎 (p.5)

以上9名



金淵佑亮
神戸協会

この度、2級審判員に昇級させて頂きました。金淵佑亮と申します。

まず初めに2級昇級にあたり、兵庫県サッカー協会の皆様、神戸市サッカー協会の皆様の皆様に感謝申し上げます。

私は、本格的に審判を始めたのは、高校1年生でした。その時から、様々なカテゴリーの割り当てやスキルアップ研修会、兵庫県ユース審判トレセン、全日本少年サッカー大会への派遣などと色々な経験をさせて頂いてきました。

今シーズンより2級候補として活動させて頂き、毎試合インストラクターの方からご指導いただいたり、兵庫県審判トレセンにも参加させて頂き、とても有意義な1年間を過ごすことができました。

今後は、2級審判として自覚を持って活動していき、少しでも上のカテゴリーを目指していきたいと思えます。これからもご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。一年間本当にありがとうございました。

この度、2級審判員に昇級させて頂きました、姫路サッカー協会の岸田悠佑と申します。

まず始めに、2級昇級にあたり、ご尽力頂きました兵庫県サッカー協会の皆様、姫路サッカー協会の皆様、今までご指導ご支援を頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

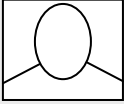
約3年前に3級を取得しその時にアクティブ3級に登録させて頂き今までにやったことのないような試合を割り当てて頂けるようになり私は益々審判活動が楽しくなりました。そして今年、2級候補となり今まで以上に審判活動の幅が広がり、貴重な経験をすることができました。また、色々な方からたくさんの指導をして頂き審判技術とともに人としても成長することができたと思えます。たくさんの苦い思い出や壁に当たったこともありましたが、その都度、インストラクターの方や上級審判員の方、同期の仲間に温かい言葉や時には厳しい言葉を頂き支えられここまですることができました。

今後、自分自身のさらなるスキルアップを目指し「Player's First」を心掛け審判活動を通じサッカーの楽しさを伝えていきたいです。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



岸田悠佑
姫路協会



(文面)

氏名

出身協会

【掲載順】

- 金淵 (p.1)
- 岸田 (p.1)
- 小谷 (p.2)
- 谷添 (p.2)
- 堤 (p.3)
- 寺岡 (p.3)
- 原 (p.4)
- 前田 (p.4)
- 山崎 (p.5)

以上9名

小谷敏之
神戸協会

この度、2級審判員に昇級させて頂きました、小谷敏之と申します。

まず初めに、2級審判員への昇級にあたり 兵庫県サッカー協会の皆さま、神戸市サッカー協会の皆さま、そして私を支えて下さった皆さまに感謝申し上げます。

昨年、私の力不足で2級審査を落ちた際に「1級・2級・3級は関係ない、3級でも2級の志を持って選手のために審判しろ」激励を頂いた言葉は忘れません。

また、兵庫県の審判仲間から暖かいご声援と励ましがあり、自分は一人ではなく、多くの人に支えられているのだと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今年度、このような私に再度、チャンスを与えて頂き、また県トレセンにも参加させて頂き、上級審判員皆さま、インストラクター皆さま、関係者の皆さまにお礼を申し上げます。

今後は2級審判員として、また人として愚直に常に感謝と喜びを忘れず、兵庫のサッカーとサッカーに係る人々が豊かになるよう最善の努力をしていく所存です。

まだまだ、審判員としても、人としてもまだまだ未熟ですが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

この度、2級審判員に昇級させて頂きました谷添大地です。

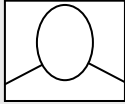
まずはじめに、今回2級になるにあたってご指導いただいたインストラクターの方々、兵庫県サッカー協会、また応援して頂きました皆様に、心より御礼申し上げます。

ここに来るまで、本当に色んなことがありました。もちろん上手くいくことばかりではありません。失敗をして落ち込むことも多かったです。しかし、どんな時でも応援してくれる審判仲間やアドバイスをいただけるインストラクターの方々のおかげで今回2級になることが出来たと思っています。

来年からはワッペンの色も変わり、今以上に責任のある行動とレフェリングが求められると思います。また、皆様に見られるということに常に自覚して審判活動を頑張っていきたいと思いますので、これからよろしくお願い致します。

最後になりますが、県内審判員の皆様、インストラクターの皆様、これからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

谷添大地
丹有協会



(文面)

氏名

出身協会

【掲載順】

- 金淵 (p.1)
- 岸田 (p.1)
- 小谷 (p.2)
- 谷添 (p.2)
- 堤 (p.3)
- 寺岡 (p.3)
- 原 (p.4)
- 前田 (p.4)
- 山崎 (p.5)

以上9名



堤 有司
神戸協会

この度、2級審判員に昇級させて頂きました、堤有司と申します。

合格の喜びも有りますが、やはりこの位置に導いて頂いた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

今年1月にアクティブ3級の研修会に参加させて頂いた時、このままではいけない、何かアクションを起こさなければと思い、研修会で上級を目指します、と申し入れました。

その後、レフリースクールの門をたたき1年がスタートしました。沢山の割り当てを頂き1試合、1試合 全力で挑むのですが、もちろん上手くはコントロール出来ません。この歳で何とも言えない緊張感、壁にぶち当たる等、こんな経験するとは思いませんでした。

素晴らしい経験をさせて頂き、諦めない気持ちが結果に繋がったのだと通貫致しました。

今、しなければならぬ事 今後、自分に出来る事を、見極めサッカーに携わる人々に貢献出来るよう精進して参ります。

今後共、皆様方のご指導ご鞭撻頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。

この度、2級審判員に昇級させて頂きました、寺岡大輔と申します。

まず初めに、2級昇級にあたり、ご尽力頂きました兵庫県サッカー協会 神戸市サッカー協会の皆様に心より感謝すると共に厚く御礼申し上げます。

3級審判員になった時には、まさか自分が2級審判員を目指すことなど、想像もつきませんでした。2級審判員の諸先輩方から、『2級を目指せ』とのお言葉をかけて頂き、ただ漠然と自分の中で『目指してみよう』と考えるようになり、関西レフリースクールを受講しました。ただ当時の私は、審判員として未熟であった為、『2級とはこんなにも大変なものなのか』と感じました。

兵庫県社会人リーグ開幕前に、2級候補になったことを強化育成部から告げられ、『目指してみよう』から『絶対に2級になる』と決意しました。

兵庫県社会人リーグをはじめ、様々なカテゴリで審判活動をさせて頂いたり、審判トレセン活動にも参加でき、審判の難しさ、厳しさ、面白さを沢山のインストラクターに教えて頂きました。

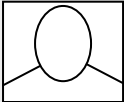
『走れない審判は要らない』という言葉に胸に2014年は、人生の中でも最も充実した一年となりました。

最後に、今後は2級審判員として見られる、目標にされる存在であり続けることができるように、強い決意と覚悟を持ち、審判道に精進して参ります。

今後とも、厳しいご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



寺岡大輔
神戸協会



(文面)

氏名

出身協会

【掲載順】

- 金渕 (p.1)
- 岸田 (p.1)
- 小谷 (p.2)
- 谷添 (p.2)
- 堤 (p.3)
- 寺岡 (p.3)
- 原 (p.4)
- 前田 (p.4)
- 山崎 (p.5)

以上9名



原 亮太
学連(芦屋大)

この度、2級へ昇級させて頂きました、原亮太と申します。現在芦屋大学サッカー部で活動しております。

私が審判を始めたきっかけは、部活中に審判をする機会が多々ありました。練習中にする紅白戦やトレーニングマッチなどで審判をしていると、さらに深く勉強してみたいと思い、2014年2月、レフェリースクールを受講しました。そこでは、審判を何も知らない私を周りの方々は、優しくご指導頂き、支えてくださったのでレフェリースクールを卒業することができました。

その後、たくさんの試合を吹かせて頂きました。それに加え、インストラクターの方々にご指導頂き私の技術の向上に繋がりました。そして1年を経て、昇級することができました。インストラクターの方々及び2級審判員昇級の資格を与えてくださった関係者の皆様にお礼を申し上げます。

プレーヤーと審判の両立が難しくなってきた、審判活動を一時休止しプレーヤーに専念することも考えました。しかし、身近におられる審判員の方々に助けていただきました。今後は、さらなる技術向上に鍛錬し2級審判員としての自覚と責任を持ち、誰もが認める審判員を目指し、これからも日々精進します。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

この度、2級昇級を承認していただきましたので、ご報告します。

関西サッカー協会及び兵庫県サッカー協会、並びにその他関係の方々にご指導、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

今年2月、関西レフェリースクールに参加させていただき、競技規則の理解を深めるとともに、審判のやりがいを感じる事ができました。

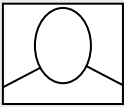
しかし、担当した試合の中で、うまくコントロールできなかったものが何度もあり、審判の任務を遂行することがいかに難しいかも痛感しています。

試合を経験する度に新しい発見や学ぶべきことがあり、課題は尽きません。

今回の昇級を励みに、より良い判定、より安定したゲームコントロールができるようこれからも努めていきたいと思っております。



前田晃男
神戸協会



(文面)

氏名

出身協会

【掲載順】

- 金淵 (p.1)
- 岸田 (p.1)
- 小谷 (p.2)
- 谷添 (p.2)
- 堤 (p.3)
- 寺岡 (p.3)
- 原 (p.4)
- 前田 (p.4)
- 山崎 (p.5)

以上9名



山崎周造
高体連

まずこの度、2級昇級できたことに対してこれまで指導をしてくださった方々に心から感謝の意を表したい。

私の審判活動は、今年1月に関西レフリースクールから始まった。4日間の中で、大歳さん・広岡さんはじめインストラクターの方々に、様々な疑問や意見をぶつけ、それに誠実に答えていただいたことで、サッカーの競技規則について深く学ぶことができた。

関西レフリースクール終了後は、広岡さんに兵庫県の参加者でレフリースクール特別コースを設けていただき、審判についての技量向上の機会を得ることができた。

市立飾磨高等学校の梅谷先生、県立龍野高等学校の尾本先生には、夏休みなどのリーグ戦や練習試合で審判をさせてもらう中で指導をしていただき、とても貴重な経験を積むことができた。

4月からは、アクティブ3級として兵庫県の割り当てをいただき活動をした。審判について何もわからない私に対して、活動を共にした先輩の審判員の方々はとても丁寧に指導をしてくださった。審判法の指導だけでなく、審判道具を譲ってくださったり、別の先輩審判員を紹介して下さったりと、私が審判活動を行なう上での手助けを多くしてくださった。

そして何より審判ができたのは、試合をする選手・チーム関係者、大会運営者の方々がいたからだ。

このように多くの方々が私の審判活動を支えてくださったことでこの度の2級昇級が実現することができた。決して自分一人の力で成し得たことではない。そのため「2級」ということに対して「責任」を実感している。その「責任」とは、今後、私がサッカー界に対して貢献をしなければならいことを意味している。

私は高校教師として、今後、高校生に対してサッカーの指導を行なう立場にある。審判員として、高体連の試合を中心に審判活動を行なうとともに、次世代の審判員の芽を育てることも私の担う役割だと考える。

具体的には、「サッカー経験者として当たり前ボールリフティングが100回できるように、当たり前主審をすることができる」このようなサッカー人を育てたい。プレーヤーや審判員といった役割に垣根を作るのではなく、プレーヤーもでき、コーチングもでき、大会運営もでき、審判もできるといったようなジェネラルなサッカー人を多く育て、社会に輩出することが、兵庫県(日本)サッカー界の発展につながると考える。

決して容易なことではないが、理想を高く持ちチャレンジしていきたい。

ありがとうございました。

以上